

工 事 番 号							
設計年度	令和6年度	<p style="text-align: center;">普通河川藤井川支川河川改良工事</p> <p>河川改良事業</p> <p>三原市 深町</p> <div style="text-align: right; margin-right: 50px;"> 单独市費 仕様書 </div>					
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要				起 工 理 由			
施工延長 L=61m 河川土工 一式 落ちふた式U型側溝 L=61m 擁壁護岸工 一式							

特記仕様書

第1章 総則 第1節

適用

- 1 本特記仕様書は、三原市深町 普通河川藤井川支川河川改良工事に適用する。
 - 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・ **土木工事共通仕様書（令和5年8月）広島版**
- ※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
・ その他関連規格類

第3節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第4節 週休2日工事等

本工事は、「発注者指定型」による週休2日工事等の対象工事であり、実施にあたっては「三原市週休2日工事等実施要領」に基づき実施するものとする。

第2章 施工条件

第1節 工程

- 1 地下埋設物の事前調査
調査項目 地下埋設物
調査時期 工事施工前に試掘を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする）

第2節 用地

- 1 現場の復旧
原形復旧とする。

第3節 公害対策

- 1 事前・事後調査
調査区分 事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。
調査区分 （設計変更の対象とする。）
調査時期 施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）
調査内容 柱，屋根，壁，基礎，建具等の傾斜，損傷状況
範囲 監督員と協議するものとする
- 2 粉じん防止
管理内容 粉じん防止の散水
範囲 工事作業範囲

第4節 安全対策

- 1 交通誘導員・警戒船・保安要員
作業期間中の交通誘導員は，工事期間中において1（人／日）を見込んでいる。

第5節 工事用道路

1 一般道路

使用期間 工事施工期間
使用時間 8時～17時

工事中・後の処置 随時 清掃, 工事後 舗装欠損部補修 (工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。)

第6節 建設副産物

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-1-19 建設副産物「4. 再生資源利用計画」、 「5. 再生資源利用促進計画」及び「6. 実施書の提出」によらず、次のとおり取り扱う。

1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議するものとする。

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

3 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

1. 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

2. 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

4 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

5 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

- 6 確認結果票の保管
受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 7 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求
受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。
 - (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
 - (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
 - (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
 - (4) 建設発生土の搬出量
 - (5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 8 建設発生土の搬入元への受領書の交付
受注者は建設発生土の利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 9 受領書の内容確認
受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 10 受領書の保管
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

第7節 その他

- 1 工事用機資材等の仮置き
場所 受注者が責任を持って管理すること。なお、借地料等については受注者の負担とする。
- 2 法定外の労災保険 の付保
 - 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
 - 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
 - 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和4年8月 広島版）『1-1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。
なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

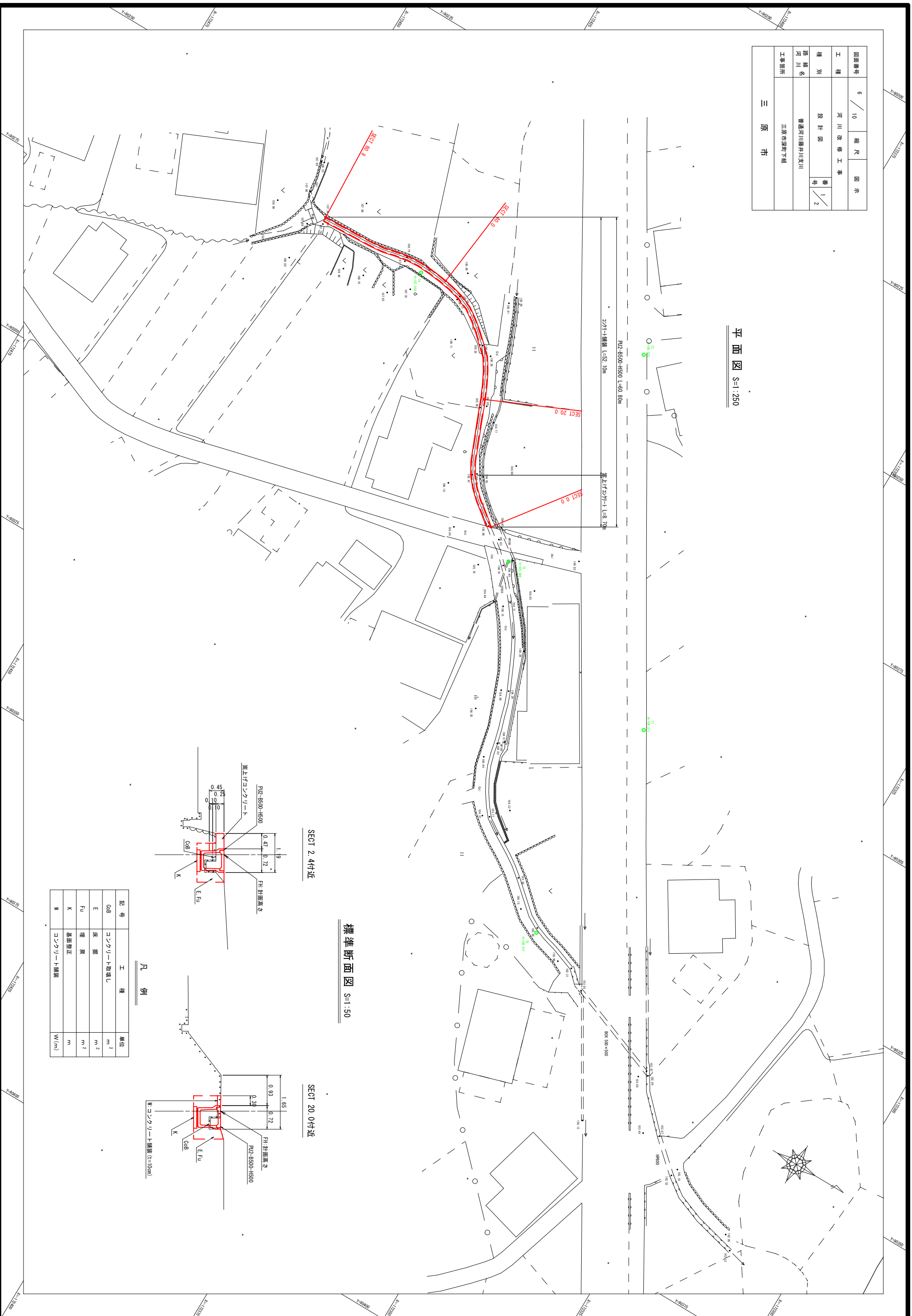
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
築堤・護岸		式	1	レベル1
河川土工		式	1	レベル2
残土処理工		式	1	レベル3
擁壁護岸工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
側溝工		式	1	レベル3
落ちふた式U型側溝	【PU2-B500-H500】	m	61	レベル4
側溝蓋	【500】	枚	122	レベル4
擁壁護岸		式	1	レベル3
擁壁護岸	【コンクリート擁壁,平均高さH=0.4m】 【養生費有り,コンクリート夜間割増無】	式	1	レベル4
構造物取壊し工		式	1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	【機械施工】	m3	6	レベル4
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	【Co殻】	m3	6	レベル4
殻処分	【Co殻】	m3	6	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
水替工		式	1	レベル3

図面番号	6 / 10	縮尺	図示
工種	河川改修工事		
種別	設計図	番号	1 / 2
路線名	普通河川藤井川支川		
工事箇所	三原市深町下組		

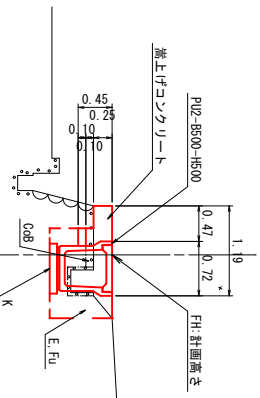
三原市

平面図 S=1:250

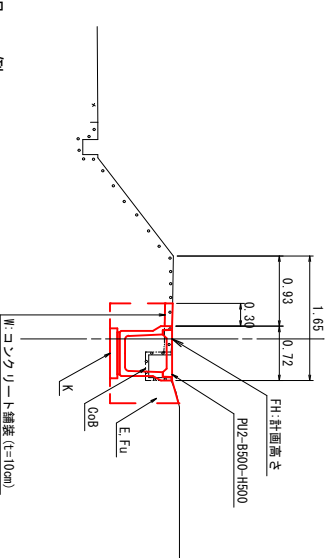


標準断面図 S=1:50

SECT 2.4付近



SECT 20.0付近

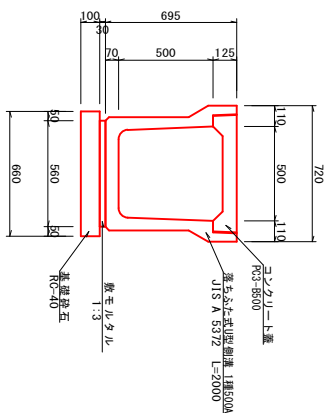
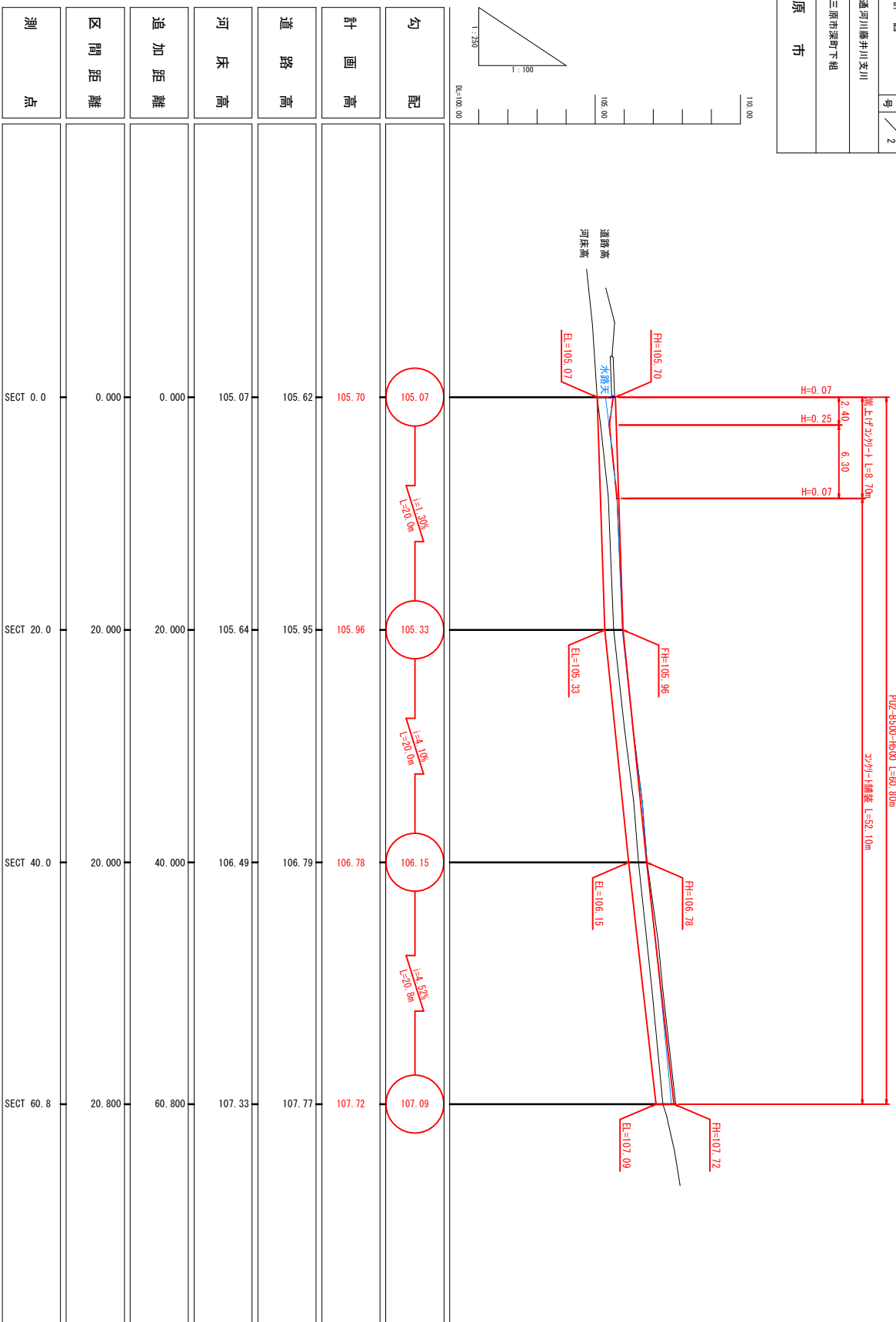


凡例

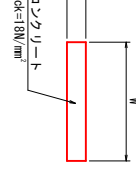
記号	工種	単位
O:8	コンクリート取壊し	m ²
E	床掘	m ²
Fu	埋戻	m ²
K	基面整正	m
W	コンクリート舗装	W(m)

図面番号	7 / 10	縮尺	図示
工種	河川改修工事		
種別	設計図	番	2 / 2
箇所名	普通河川藤井川支川		
工事箇所	三原市深町下組		
三原市			

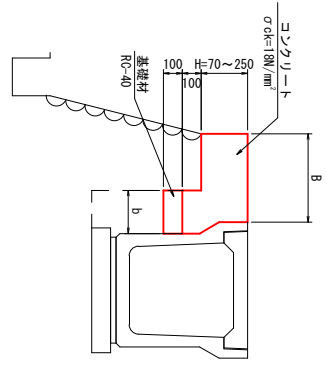
縦断面図 縮尺 H=1:250



種別	数量
相違	5.0 個
既設モルタル	0.168 m ³
基礎砕石	6.60 m ²



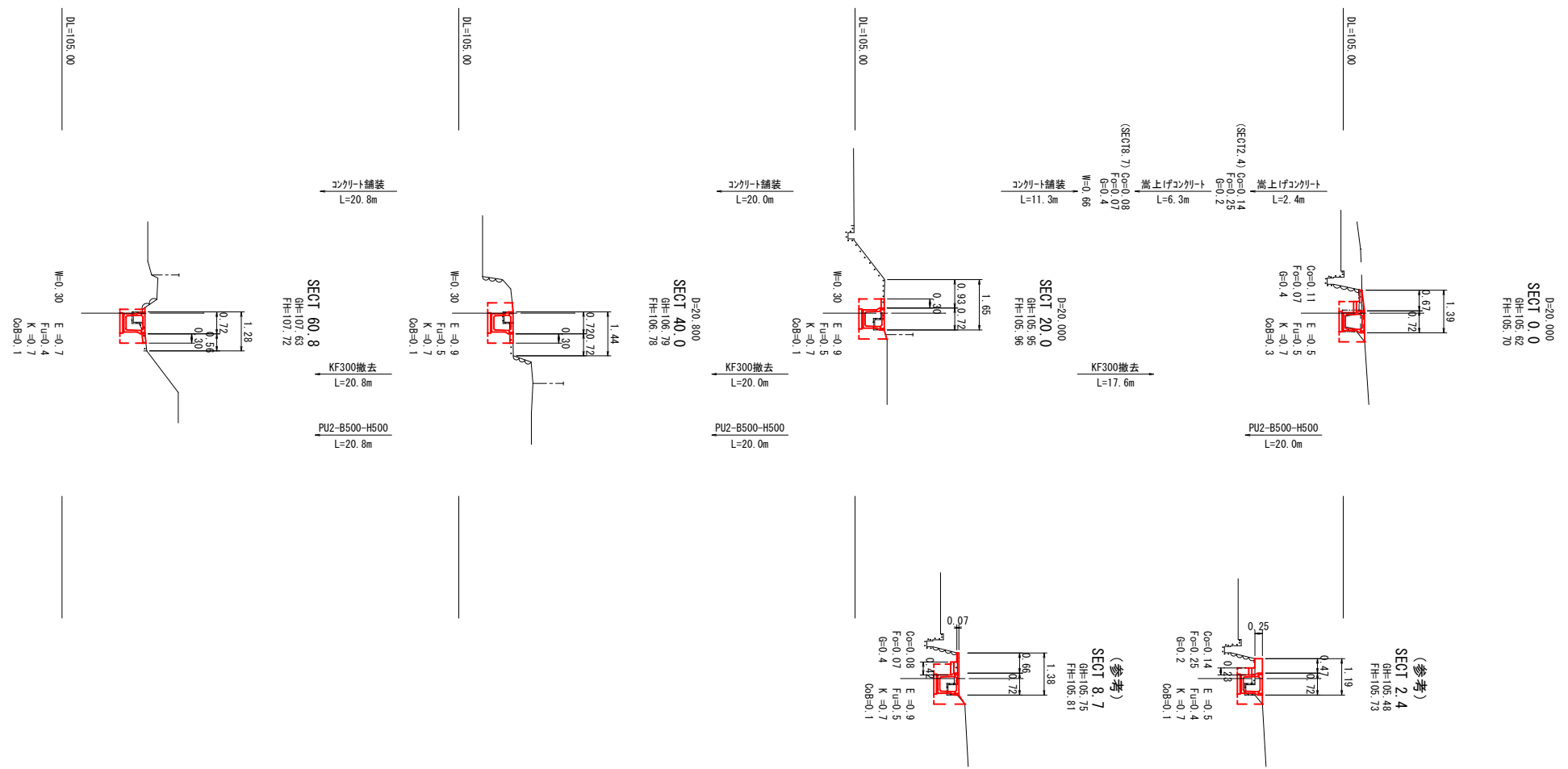
コンクリート舗装 S=1:20



嵩上げコンクリート S=1:20

種別	規格	算式	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm ²	機械図による	m ³	
砕石	H		m ²	
基礎砕石	b		m ²	

横断面図 S=1:100



参 考 资 料

—普通河川藤井川支川河川改良工事—

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 59 三原市 00-06.05.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代	前世代
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 ICT補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	01 河川工事 00 補正なし 00 補正なし 03 4週8休以上 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 03 補正しない	
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
築堤・護岸					Y1A01 レベル1
	1	式			
河川土工					Y1A0101 レベル2
	1	式			
残土処理工					Y1A010108 レベル3
	1	式			
土砂等運搬 【土砂・軟岩】					Y1A01010802 レベル4
	20	m3			
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離5.5km以下(4.5km超)					SPK23040002 00
	20	m3			単第0 -0001 表
機械小運搬(土砂類・生コン) 1日当たり作業量 34.2m3/日					V000000600 00
	20	m3			単第0 -0002 表
残土等処分					Y1A01010803 レベル4
	20	m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
受入費 土砂・軟岩					F0001 00
擁壁護岸工	20	m3			Y1A0108 レベル2
作業土工	1	式			Y1A010801 レベル3
掘削 【土砂・軟岩】	1	式			Y1A01080102 レベル4
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外	50	m3			SPK23040001 00
埋戻し 【流用土】	50	m3			単第0 -0005 表 Y1A01080103 レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	30	m3			SPK23040020 00
側溝工	30	m3			単第0 -0006 表 Y1E010903 レベル3
落ちふた式U型側溝 【PU2-B500-H500】	1	式			Y1E01090301 レベル4
	61	m			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
U型側溝 落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)1種 500A[500×500×2000]	61	m			SDT00013 00 単第0 -0007 表
機械小運搬(二次製品、管類、セメント類)	18	t			V000000500 00 単第0 -0008 表
側溝蓋 【500】	122	枚			Y1E01090305レベル4
蓋版 落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)1種ふた 500[622×125×500]	122	枚			SDT00017 00 単第0 -0010 表
機械小運搬(二次製品、管類、セメント類)	8	t			V000000500 00 単第0 -0008 表
擁壁護岸	1	式			Y1A010804 レベル3
擁壁護岸 【コンクリト擁壁,平均高さH=0.4m】 【養生費有り,コンクリト夜間割増無】	1	式			Y1A01080403レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	1	m3			SPK23040154 00 単第0 -0011 表
機械小運搬(土砂類・生コン) 1日当たり作業量 34.2m3/日	1	m3			V000000600 00 単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	1	m2			SPK23040156 00 単第0 -0012 表
基礎砕石 砕石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	3	m2			SPK23040034 00 単第0 -0013 表
機械小運搬(土砂類・生コン) 1日当たり作業量 34.2m3/日	0.3	m3			V000000600 00 単第0 -0002 表
構造物取壊し工	1	式			Y1E011206 レベル3
コンクリート構造物取壊し 【機械施工】	6	m3			Y1E01120601 レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	6	m3			SDT00031 00 単第0 -0014 表
運搬処理工	1	式			Y1E011216 レベル3
殻運搬 【Co殻】	6	m3			Y1E01121601 レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離10.9km以下(8.0km超)	6	m3			SPK23040152 00 単第0 -0015 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械小運搬(土砂類・生コン) 1日当たり作業量 34.2m3/日	6	m3			V000000600 00 単第0 -0002 表
殻処分 【Co殻】	6	m3			Y1E01121602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート殻受入費 無筋コンクリート	15	t			F0003 00
仮設工	1	式			Y1A0115 レベル2
水替工	1	式			Y1A011506 レベル3
ポンプ排水 【排水量0以上40未満(m3/h),常時排水】	5	日			Y1A01150601レベル4
ポンプ設置・撤去	1	箇所			SHD10037 00 単第0 -0016 表
ポンプ運転 排水量 0以上40未満 (m3/h) 常時排水	5	日			S1050031 00 単第0 -0018 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通管理工					Y1J010121 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1J01012101 レベル4
	5	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	5	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
工事原価					
一般管理费率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額 計算情報..... 対象額..... 率.....					
工事費計					

施工単価表

土砂等運搬

SPK23040002

単第0 -0001 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離5.5km以下(4.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 19.19% 労務構成比:

71.06% 材料構成比: 9.75%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,266.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	19.19%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.06%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	9.75%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=26 距離5.5km以下(4.5km超)			B=6 バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

掘削

SPK23040001

単第0 -0005 表

土砂 上記以外(小規模)

標準以外

1

m3 当り

機械構成比: 21.98% 労務構成比:

69.33%

材料構成比: 8.69%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,434.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	21.98%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	69.33%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	8.69%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=8 標準以外			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

埋戻し

SPK23040020

単第0 -0006 表

土砂

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 9.91%

労務構成比: 85.67%

材料構成比: 4.42%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,655.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	9.30%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg	0.61%		タンパ及びランマ タンパ及びランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	48.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.54%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.93%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1	上記以外(小規模) -(全ての費用)		B=1 土砂		

施工単価表

コンクリート

SPK23040154

単第0 -0011 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 31.93%

材料構成比: 68.07%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

24,215.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	14.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.38%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	68.07%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

型枠

SPK23040156

単第0 -0012 表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,890.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.99%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.08%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

基礎碎石

SPK23040034

単第0 -0013 表

碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.88% 労務構成比: 76.10%

材料構成比: 18.02%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,145.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	5.84%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	36.47%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.92%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	14.24%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.95%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	12.56%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

殻運搬

SPK23040152

単第0 -0015 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離10.9km以下(8.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 42.35% 労務構成比:

42.40% 材料構成比: 15.25% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,692.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.40%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.25%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=44 運搬距離10.9km以下(8.0km超)		

土量配分表

	掘削工種	地山数量
掘削	土砂	

	床掘区分	地山数量
床掘	土砂	50.4

	項目	地山数量
不用土		

	変化率による換算	換算土量
流用計画	0.90	0.0
		0.0
		0.0
		0.0
	32.2 × 0.90 =	29.0
捨土計画		0.0
		0.0
		0.0
		0.0

	盛土工種	盛土数量	盛土工種	盛土数量
盛土	路床部			
	路体部			
	歩道			
	路体外			
	盛土量 合計	0.0		

	埋戻し区分	埋戻し数量	埋戻し区分	埋戻し数量
埋戻し	C	0.0	D	29.0
	埋戻し 合計	29.0		

- - 32.2 + 50.4
0.0

	項目	地山数量
残土処分	土砂	18.2
		0.0

作業土工

数量集計表

名称及び測点	作業土工							
	床掘	埋戻し	埋戻し	基面整正				
		C	D					
単 位	m ³	m ³	m ³	m ²				
排水工	50.4		29.0	42.6				
	50.4	0.0	29.0	42.6				

擁壁工

数量集計表

名称及び測点	平均H	延長L	作業土工			コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$	型枠 無筋	基礎材 RC-40 t=0.15m	
			床掘	埋戻	基面整正				
単位	m	m	m ³	m ³	m ²	m ³	m ²	m ²	
作業土工									
嵩上げコンクリート		8.7				1.0	1.4	2.6	
合計						1.0	1.4	2.6	
								V=0.3m ³	

排水工

数量集計表

名称及び測点	延長	作業土工			PU2-B500-H500			
		床掘	埋戻	基面整正	落ちふた式U型側溝 1種500A			
	m, 箇所	m ³	m ³	m ²	m			
作業土工		50.4	29.0	42.6				
PU2-B500-H500					60.8			
		50.4	29.0	42.6	60.8			

作業土工(擁壁)

数量計算書

測点	距離	床掘 E			埋戻 Fu			基面整正 k			摘要
		断面	平均	立積	断面	平均	立積	巾	平均	面積	
SECT 0.0		0.5	-----	-----	0.5	-----	-----	0.7	-----	-----	
(SECT 2.4)	2.4	0.5	0.50	1.2	0.4	0.45	1.1	0.7	0.70	1.7	
(SECT 8.7)	6.3	0.9	0.70	4.4	0.5	0.45	2.8	0.7	0.70	4.4	
SECT 20.0	11.3	0.9	0.90	10.2	0.5	0.50	5.7	0.7	0.70	7.9	
SECT 40.0	20.0	0.9	0.90	18.0	0.5	0.50	10.0	0.7	0.70	14.0	
SECT 60.8	20.8	0.7	0.80	16.6	0.4	0.45	9.4	0.7	0.70	14.6	
合計				50.4			29.0			42.6	

排水工

数量計算書

PU2-B500-H500					
測 点	延 長	測 点	箇 所	測 点	箇 所
SECT 0.0					
SECT 20.0	20.0				
SECT 40.0	20.0				
SECT 60.8	20.8				
合 計	60.8	合 計		合 計	

舗装工

数量計算書

測点	距離	W1:表層			W2:路盤			断面	平均	面積	摘要
		断面	平均	面積	断面	平均	面積				
SECT 0.0											
(SECT 2.4)	2.4										
(SECT 8.7)	6.3	0.66	-----	-----							
SECT 20.0	11.3	0.30	0.48	5.40							
SECT 40.0	20.0	0.30	0.30	6.00							
SECT 60.8	20.8	0.30	0.30	6.20							
合計				17.60			0.00			0.00	

取壊工

数量計算書

測点	距離	コンクリート取壊し			KF300撤去			摘要
		断面	平均	立積	断面	平均	延長	
SECT 0.0		0.3	-----	-----				
(SECT 2.4)	2.4	0.1	0.20	0.5				
(SECT 8.7)	6.3	0.1	0.10	0.6				
SECT 20.0	11.3	0.1	0.10	1.1			17.6	
SECT 40.0	20.0	0.1	0.10	2.0			20.0	
SECT 60.8	20.8	0.1	0.10	2.1			20.8	
合計				6.3			58.4	



この図は、地理院地図を利用したものである。